

山形県電機商業組合

住 所	〒990-2412 山形県山形市松山3-14-78佐久間ビル1階		
U R L	https://www.denkisyo.jp/		
設 立	昭和37年9月	主 な 業 種	電気機械器具販売業
組 合 員 数	214人	出 資 金	214千円

■背景・目的

社会全体の環境意識の高まりやCO2削減目標などを背景に、電器店としてもいづれ対応が必須になることを平成18年頃から認識し、全国に先駆けて組合員の「環境マイスター」や「スマートライフコンシェルジュ」の資格取得や定期的な研修を実施してきた。組合のスローガンに「カーボンニュートラル宣言」を第一に掲げ、山形県の「省エネ家電買換えキャンペーン」等を行政とも連携するなど、地域全体でSDGsへの取り組みを実践してきた。

■取組みの手法と内容

環境問題や省エネ、カーボンニュートラルに関する制度・資格の重要性について組合員に周知し、資格取得者の増加を促した。また取得後のフォローアップ講習会を実施して理解を深めており、現在85名が環境マイスターを取得した。

平成26年からは「スマートライフコンシェルジュ」にも取り組み、組合員のほぼ全員が取得している。講習会をオンライン等で実施し、成長が期待されるIoT家電等についても学んでいる。

環境問題に取り組む行政等との連携も強化しており、平成20年からは山形県と「省エネ家電普及に関する協定」を締結、また山形市が行う「山形まるごとCOOL CHOICE」事業で、省エネ家電の普及促進活動も実施している。これらの諸活動を組合員の経営の継続と発展に繋がる最重要活動として位置付けており、役員と事務局長を中心に研修会や各種省エネイベント等を実施している。

■成果とその要因

環境マイスター、スマートライフコンシェルジュ取得者は増加し、経営活動での知識や資格を活かすことにより顧客の省エネ家電への買い替え需要が増えたことで組合員の経営改善、後継者育成や事業承継、組合員数の維持等に繋がっている。環境問題やカーボンニュートラル等が注目され始めた時期に先見の明を持って取り組んできたこと、資格取得後も研鑽を怠らないこと、自治体等の諸施策と連携して進めてきたことが、大きな成果要因である。



組合員各店では資格を取得した店主らが省エネ家電とスマートライフを顧客に提案している



組合では2つの資格の他、時機に合わせたテーマの研修会を開催し組合員の資質向上に努めている



自治体のイベントに出展。消費者に新製品と旧製品の省エネ性能の違いをアピール

Point!

時代の要請であるカーボンニュートラルを組合のスローガンに掲げ、環境マイスター等の資格取得を進めるとともに、自治体等とも連携し省エネ家電の普及に取り組んでいる。